

高水準の賃上げで、高まる日銀政策修正期待

ポイント① 大きな上昇が見込まれる賃上げ率

連合（日本労働組合総連合会）から、3月7日に春闘の要求集計結果が公表されました。2024年の賃上げ率の要求は前年比+5.85%（加重平均）と、昨年の同+4.49%を大きく上回ったにもかかわらず、3月13日の集中回答日には満額回答の企業が多数見受けられ、一部では要求を上回る賃上げを実施する企業もみられました。23年度の企業収益が堅調であること、企業が人手不足に直面していることが背景にあるとみられます。

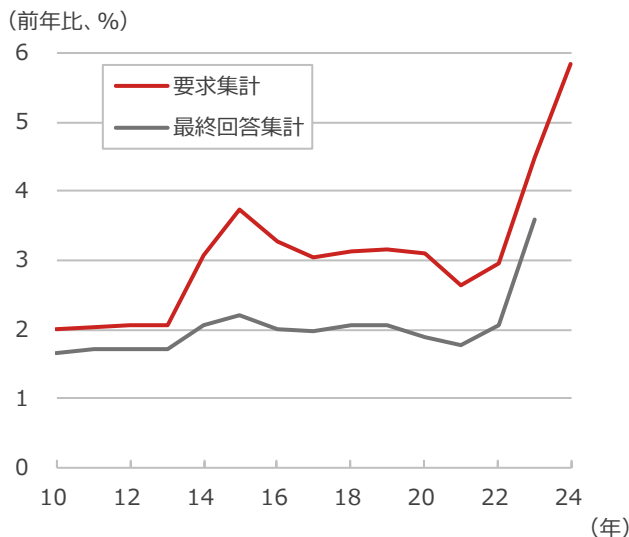
ポイント② 今年後半にも実質賃金プラスに転じるか

3月7日に発表された毎月勤労統計調査によると、2024年1月の一人当たりの実質賃金は前年同月比▲0.6%と22ヵ月連続のマイナスとなりました。一方、名目賃金を示す一人当たりの現金給与総額は同+2.0%と25ヵ月連続でプラスとなっています。また、足元の消費者物価指数の上昇率は鈍化しており、春闘の動向から大幅な賃上げが見込まれていることで、今年後半にも実質賃金がプラスに転じると予想されています。

ポイント③ マイナス金利解除の可能性高まる

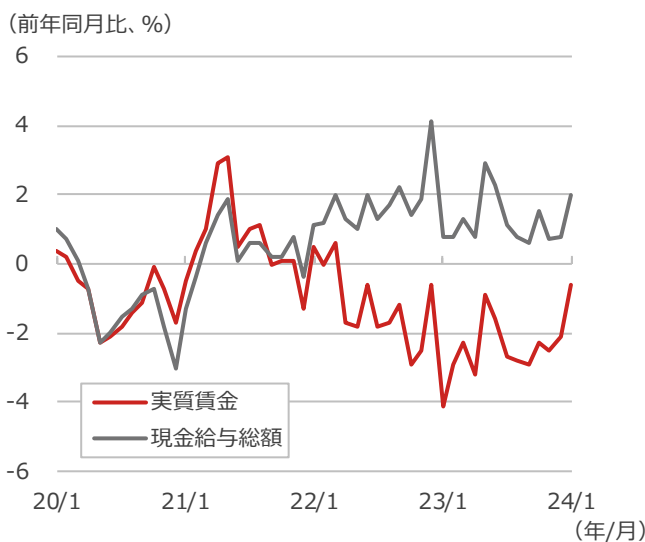
春闘の動向から、賃上げと物価上昇の好循環の確度が高まったとの見方が強まっています。3月15日に発表される第1回回答集計結果で高い賃上げ水準が確認できれば、日本銀行は、18-19日に開催される金融政策決定会合でマイナス金利解除、YCC（イールドカーブ・コントロール）再修正、ETFなどの買い入れ政策の修正などが発表されると想定されます。引き続き日本銀行の金融政策を占う上で、今後発表される春闘の集計結果や日本銀行総裁の発言に注目が集まりそうです。

春闘（春季生活闘争）の
要求集計、最終回答集計の賃上げ率



期間：（要求集計）2010年～2024年、年次
（最終回答集計）2010年～2023年、年次
（出所）日本労働組合総連合会データより野村アセットマネジメント作成

一人当たりの実質賃金と現金給与総額の推移



期間：2020年1月～2024年1月、月次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント
3月19日 日銀金融政策発表
3月22日 連合「第2回回答集計結果」公表